

富山国際大学

事務部長 中島るみ子 殿

冠省 過日は弊社までご足労いただきありがとうございました。

関係者との打ち合わせの結果、当方の意見をお知らせ致します。

私、村田は工業化学・応用化学分野における調査・研究・教育・コンサルティングを本務とする者であり、過去、主な著作だけをとっても、以下の書籍（論文以外）を執筆し、著名出版社等から刊行しています。その意味からして著書の大規模な盗用は、私にとりライフワークの根幹を揺るがすものであり、貴大学在任中における本多氏の行為は、ただ単に著作権法違反にとどまるものではなく、私の名誉・信用を毀損する犯罪行為であると考えます。

- ・産業廃棄物有害物質ハンドブック 東洋経済新報社（1976/9）
- ・新しい化学教室 公害対策技術同友会 村田徳治（1982/10）

★最新 リサイクル技術の実際 オーム社 村田徳治（1993/7）

<盗用の実態>

紀要の123頁から165頁（全42頁）におよぶ本多氏の論文の130頁から146頁（16頁・全頁数の38%）にわたって、拙著「最新 リサイクル技術の実際」（オーム社1993年7月30日発行）の中の章・節のタイトルと文章を一字一句変えることなく、そのまま記載されておりました。（章については前後入れ替えた部分あり）しかも引用文献の記載もありませんでした。

- ・正しい水の話—おいしい水、まずい水、危険な水、安全な水 水に関するウソをあばく！ はまの出版 村田 徳治（1996/10）
- ・このままだと「20年後の資源」はこうなる（20年後シリーズ）山本良一、村田徳治（1997/1）
- ・廃棄物のやさしい化学—産廃化学漫話（第1巻）日報出版 村田徳治（1989/3）
- ・廃棄物のやさしい化学—産廃化学漫話（第2巻）日報出版 村田徳治（1989/8）

- ・廃棄物のやさしい化学—産廃化学漫話（第3巻） 日報出版 村田徳治（1990/1）
- ・環境破壊の思想—平気で地球をダメにする人類 日報出版 村田徳治（2000/6）
- ・都市ごみのやさしい化学 日報出版 村田 徳治（2000/6）
- ・廃棄物の資源化技術 オーム社 村田 徳治（2000/9）
- ・化学はなぜ環境を汚染するのか 環境コミュニケーションズ 村田 徳治（2001, 2004/4）
- ・廃棄物のやさしい化学 第2巻 廃油と廃プラスチックの巻 村田徳治（2008/5/1）
- ・廃棄物のやさしい化学 第3巻 廃酸・廃アルカリ・汚泥の巻 村田徳治（2008/5/1）
- ・新訂 廃棄物のやさしい化学（第1巻有害物質の巻） 村田徳治 日報アイ・ビー（2009/4）
- ・新訂 廃棄物のやさしい化学 第2巻 廃油と廃プラスチックの巻 日報出版（2008/5）
- ・新訂 廃棄物のやさしい化学 第3巻 廃酸・廃アルカリ・汚泥の巻 日報出版（2008/5）

そのなかで今回のような想像を絶する論文盗用を、こともあろうか現役の大学教授が行い、全国各地の大学図書館、公立図書館などに紀要として配布していたことは、筆者であります村田徳治の著作権、とりわけ人格権、さらに財産権、著作隣接権などの甚大な侵害であり、富山国際大学関係者及び盗用当人の謝罪、詫びだけで済まされるものではない、重大な事件であると考えます。

これは出版社でありますオーム社にあっても同様です。出版社は著作財産権、著作隣接権、編集権などを有しているからです。

つきましては、富山国際大学が誠意ある対応として、早急に以下の諸措置をとられることを要請します。なお、以下の3つの措置のうち（3）を大学側が実施されない場合は、村田側で会見を開催す

ることとします。また（１）、（２）が行われた段階で、独自にホームページなどの媒体にて周知する所存です。

（１）紀要送付先への関係書類の送付

富山国際大学紀要について、村田が調査したところ全国各地の大学図書館及び一部公立図書館に創刊号が蔵書として所蔵されていることがわかりました。友人で東京都市大学図書館長を永年勤められた知人に調べてもらったところ、別紙にあるように紀要創刊号の存在が確認されました。

つきましては、富山国際大学紀要の送付先（謹呈先、交換送付先など）に、別紙１（Web公開文、「お詫びとお知らせ」）、別紙２（富山国際大学の論文不正疑惑についての調査結果等について（通知））を同封され送付していただきたく存じます。

なお、送付先リストを当方にご送付頂くよう要請します。

（２）公式ホームページへのお詫びとお知らせの掲載

送付されてきました「掲載論文の取消・削除と本号の再編纂について（詫びとお知らせ）」を富山国際大学公式ホームページのトップページに速やかに公開してください。

（３）記者会見の開催

本件については、紀要が全国各地の大学、公立図書館などに送付されていること、また大学にとってあるまじき大規模論文盗用であることに鑑み、文部科学省記者クラブにおいて記者会見を開催し、広く社会に周知し再発防止を確約してください。

参考 文部科学記者会

郵便番号 100-895

住所 東京都千代田区霞ヶ関3-2-2

電話番号 03-5253-4111

通常、幹事社に電話され、会見の開催日程を決めた後、配布資料をあらかじめ必要部数（66部、以下参照）送付し実施する。

朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、日本経済新聞、産経新聞、東京新聞、西日本新聞、京都新聞、信濃毎日新聞、共同通信、時事通信、NHK、日本テレビ、TBS、フジテレビ、テレビ朝日、日刊工業新聞、フジサンケイビジネスアイ、夕刊フジ、ジャパントイムズ、十勝毎日新聞、岩手日報、河北新報、デーリー東北新聞、東奥新聞、陸奥新聞、茨城新聞、神奈川新聞、下野新聞、上毛新聞、岐阜新聞、静岡新聞、新潟日報、福井新聞、北国新聞、北日本新聞、神戸新聞、山陽新聞、中国新聞、宮崎日日新聞、愛媛新聞、高知新聞、四国新聞、沖縄タイムス、熊本日日新聞、長崎新聞、南日本新聞、琉球新聞、テレビ東京、文化放送、ニッポン放送、毎日放送、青森テレビ、青森放送、テレビ岩手、静岡放送、信越放送、福井放送、山陽放送、南日本放送、岩手放送、朝日学生新聞

なお、開催月日、時刻、場所については、必ず村田まで事前連絡してください。

草々

2014年4月21日

循環資源研究所 所長 村田徳治